



平成26年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 津田駒工業株式会社

コード番号 6217 URL <http://www.tsudakoma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菱沼 捷二

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 総務部長 (氏名) 竹鼻 達夫

TEL 076-242-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第1四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	9,632	68.2	△174	—	△174	—	△167	—
25年11月期第1四半期	5,726	△38.4	△1,162	—	△1,176	—	△1,146	—

(注) 包括利益 26年11月期第1四半期 △237百万円 (—%) 25年11月期第1四半期 △809百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第1四半期	△2.63	—
25年11月期第1四半期	△17.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	38,862	—	15,766	—	38.0	—
25年11月期	42,435	—	16,006	—	35.3	—

(参考) 自己資本 26年11月期第1四半期 14,761百万円 25年11月期 14,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年11月期の期末の配当につきましては、現時点では未定です。
配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	17.9	△450	—	△450	—	△450	—	△7.04
通期	43,000	4.4	250	—	200	—	200	—	3.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期1Q	68,075,552 株	25年11月期	68,075,552 株
② 期末自己株式数	26年11月期1Q	4,156,321 株	25年11月期	4,155,637 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期1Q	63,919,570 株	25年11月期1Q	63,921,036 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 4
3. 四半期連結財務諸表	P 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 9
(継続企業の前提に関する注記)	P 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 9
(セグメント情報等)	P 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果など諸経済対策の効果が表れ、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、国際経済は、米国の堅調や欧州経済の持ち直しが伝えられておりますが、新興国経済の成長鈍化、ウクライナ情勢など不透明要素も強く、今後の動向を注視していかなければなりません。

こうした中、当企業グループは受注の確保と売上の拡大に注力いたしました。

繊維機械事業では、各市場でお客様の設備投資意欲は継続しておりますものの、中国市場では前期後半から懸念されておりました一部繊維製品の在庫増加や金融機関の融資枠縮小などの影響が表れました。

工作機械関連事業では、主要なお客様であります工作機械業界の回復が伝えられておりますが、当事業部門で生産する付帯装置分野への波及が、当初予想よりも遅れております。

この結果、全体では、受注高は8,066百万円（前年同期比20.9%減少）にとどまりました。売上高は9,632百万円（同比68.2%増加）と前年同期比では大幅に拡大いたしましたものの、当初予定を下回りました。

そのため損益面では、営業損失174百万円（前年同期 営業損失1,162百万円）、経常損失174百万円（同 経常損失1,176百万円）、四半期純損失167百万円（同 四半期純損失1,146百万円）となりました。

(繊維機械事業)

主力市場の中国市場においては、米国経済が堅調に推移しておりますことや欧州経済の底打ち感から、中国製繊維製品の輸出は拡大傾向にあり、最新設備への更新意欲は継続しております。

しかし、人民元高に伴う輸出採算の悪化や一部繊維製品の在庫増加などから、現状での設備投資を先延ばしする動きが見られました。また、金融面においては、シャドーバンキング問題に伴う銀行融資の審査の厳格化や一部貸し渋りなど、金融引締め傾向が強まり、成約済み案件のL/C（信用状）の開設遅れが見られました。

その他の市場では、インド市場は政府の借入金利子補助政策やルピー安に伴い繊維製品の輸出競争力が改善いたしました一方で、金融引締めの強化からお客様の資金調達に影響が表れました。

国内市場は、円安による繊維製品の輸出競争力の回復やものづくり支援制度などの経済政策の効果もあり、受注・売上ともに好調に推移いたしました。

コンポジット機械事業では、国際展示会に参加するなど航空機産業をはじめ幅広く炭素繊維素材加工装置のアピールを進め、国内外から引合いをいただきました。

この結果、当事業の受注高は6,323百万円（前年同期比28.2%減少）となりました。売上高は8,008百万円（同比87.9%増加）と前年同期比では大幅に拡大いたしましたものの、L/C（信用状）開設の遅れなどの影響から計画を下回りました。そのため、営業利益は76百万円（前年同期 営業損失879百万円）にとどまりました。

(工作機械関連事業)

当事業部門の主要な販売先であります工作機械業界では、国内市場、海外市場ともに回復の傾向が鮮明になってまいりました。

このような環境の中で当事業部門は、円安を背景に海外市場の販売強化を進めました。米国市場では、基幹産業向けを中心に販売活動を進め、受注の拡大を図るとともに価格の改善を進めました。また、成長が期待される東南アジア市場や南米市場に対しては、昨年新たに設置いたしましたタイとインドネシア、メキシコのサービス代理店のスタッフの教育を行い、サービス力強化を進めました。

製品面では、昨年商品化した新製品のボール・ドライブ・システム採用のNC円テーブルは、生産効率化、省エネが強く求められる自動車産業において一部採用が決定し、今後の受注拡大に弾みをつけることができました。

この結果、当事業の受注高は1,743百万円(前年同期比25.2%増加)、売上高は1,623百万円(同比11.0%増加)と前年同期比では増加いたしました。しかし、本格的な市場回復には至らず、営業利益は当初計画を下回る41百万円(前年同期 営業損失17百万円)にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,573百万円減少し38,862百万円となりました。主な増減は、受取手形の決済による減少であります。負債は、前連結会計年度末に比べ3,333百万円減少し23,096百万円となりました。主な増減は、長期借入金の返済や生産の減少に伴う仕入債務の減少によるものであります。純資産は、四半期純損失167百万円を計上したこと等から、前連結会計年度末に比べ239百万円減少し15,766百万円となり、自己資本比率は38.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

繊維機械事業では、主力市場である中国市場の製品の在庫の動向や金融政策の動向を注視していく必要があります。また、ウクライナ情勢の欧州経済や中国経済への影響など、国際経済の動向を注視してまいります。

今年6月には上海で世界最大規模の国際繊維機械展示会 ITMA ASIA+CITME2014が開催されます。最新鋭機種を展示し、高速性、汎用性に加え、省エネ、省人化などの機械性能をアピールし、設備投資意欲の高いお客さまの需要喚起を進めてまいります。

工作機械関連事業では、工作機械業界の回復基調を背景に、積極的に海外市場での販売促進を進めてまいります。また、新製品を機軸とした販売活動を強化するとともに、短納期対応など社内体制の整備、コストダウン活動を進め、受注・売上の拡大を図ってまいります。

全事業を通し、引き続き、海外市場の販売拡大と製品開発を進め、受注・売上の拡大と利益確保を図ってまいります。

全体では、第1四半期の受注・売上が当初計画を下回りましたことから、第2四半期累計においても当初計画を下回ると判断せざるを得ません。

第2四半期累計の売上高は19,000百万円、営業損失は450百万円、経常損失は450百万円、四半期純損失は450百万円の損失計上となる見込みです。

また、これに伴い通期の業績予想についても、売上高は43,000百万円、営業利益は250百万円、経常利益は200百万円、当期純利益は200百万円に下方修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社100%出資連結子会社であるツダコマ運輸株式会社及びツダコマ・ゼネラル・サービス株式会社は、平成26年1月20日に合併契約を締結し、平成26年3月1日付けでツダコマ・ゼネラル・サービス株式会社を存続会社とする吸収合併を行いました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,816	9,098
受取手形及び売掛金	16,024	10,969
製品	1,498	1,596
仕掛品	2,239	2,246
原材料及び貯蔵品	1,211	1,265
その他	407	475
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	29,186	25,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,127	4,054
機械装置及び運搬具(純額)	2,158	2,092
土地	3,766	3,821
建設仮勘定	21	18
その他(純額)	307	308
有形固定資産合計	10,381	10,296
無形固定資産		
投資その他の資産	54	50
投資有価証券	2,587	2,576
その他	645	718
貸倒引当金	△419	△418
投資その他の資産合計	2,813	2,875
固定資産合計	13,249	13,222
資産合計	42,435	38,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,653	3,489
短期借入金	6,452	6,393
未払法人税等	58	20
賞与引当金	—	384
受注損失引当金	84	29
未払金	7,105	5,669
その他	1,781	910
流動負債合計	20,135	16,896
固定負債		
長期借入金	1,828	1,744
退職給付引当金	4,335	4,329
役員退職慰労引当金	28	27
環境対策引当金	32	32
その他	69	65
固定負債合計	6,293	6,199
負債合計	26,429	23,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,316	12,316
資本剰余金	3,880	3,880
利益剰余金	△299	△467
自己株式	△1,237	△1,237
株主資本合計	14,659	14,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125	119
繰延ヘッジ損益	8	0
為替換算調整勘定	202	150
その他の包括利益累計額合計	336	270
少数株主持分	1,009	1,004
純資産合計	16,006	15,766
負債純資産合計	42,435	38,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
売上高	5,726	9,632
売上原価	5,899	8,685
売上総利益又は売上総損失(△)	△173	947
販売費及び一般管理費	988	1,121
営業損失(△)	△1,162	△174
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
補助金収入	0	9
その他	5	7
営業外収益合計	13	25
営業外費用		
支払利息	19	21
為替差損	5	1
その他	2	2
営業外費用合計	27	25
経常損失(△)	△1,176	△174
特別利益		
固定資産売却益	0	10
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産処分損	1	0
ゴルフ会員権評価損	0	—
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,178	△163
法人税、住民税及び事業税	3	5
法人税等調整額	1	0
法人税等合計	4	5
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,183	△169
少数株主損失(△)	△36	△1
四半期純損失(△)	△1,146	△167

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,183	△169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294	△7
繰延ヘッジ損益	△1	△8
為替換算調整勘定	81	△51
その他の包括利益合計	374	△67
四半期包括利益	△809	△237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△776	△234
少数株主に係る四半期包括利益	△32	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	4,262	1,463	5,726	—	5,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	126	—	126	△126	—
計	4,389	1,463	5,853	△126	5,726
セグメント損失(△)	△879	△17	△897	△265	△1,162

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△265百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	8,008	1,623	9,632	—	9,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	139	—	139	△139	—
計	8,148	1,623	9,772	△139	9,632
セグメント利益又は損失(△)	76	41	117	△291	△174

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△291百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。